



第381号

2018年 7月

〒461-0004 名古屋市東区葵2丁目6-35 カトリック名古屋教区広報委員会 「教区ニュース」編集部 電話 (052) 935-2223 FAX (052) 935-2254 印刷所 株式会社 荒川印刷 毎月第1日曜日発行

7月15日(日) 教区障害者のつどい カトリック熱田教会 9時受付、10時司教ミサ、16時30分終了

第40回日本カトリック正義と平和全国集会 2018名古屋大会 共に生きる地球家族 今問われる、私たちの選び、私の決意 2018年11月23日(金・祝・24日(土)) 主催 カトリック名古屋教区 共催 日本カトリック正義と平和協議会

教区ホームページ

福音のひびき

7月の説教者 1日 年間第13主日 アドリアヌス・ハヨン (多治見教会) 8日 年間第14主日 長谷川 潤 (富山地区教会) 15日 年間第15主日 プー・カイン・トゥオン (多治見教会) 22日 年間第16主日 平田 豊彦 (布池教会) 29日 年間第17主日 フランシスクス・モルク (南山教会)

インターナショナル・ミサ

子どもたちの喜びに満ちた 「アーメン ハレルヤ」



南山教会において難民移住移動者委員会と教会学校との共催でインターナショナル・ミサが5月20日に行われた。今年のテーマは「みんないっしょにむかえる人も来る人も」。毎年参加者が増え、今年は約400人以上の人々が共に祈った。松浦悟郎司教が参加小教区を紹介すると、名前を呼ばれるたびに歓声があがり、明るく楽しいミサが始まった。松浦司教は子どもたちの民族衣装が刺繍された楽しいミトラを被り、若者たちの楽器の伴奏による聖歌は、それぞれの国の言葉で歌われ、共に祈る思いが強く

感じられた。説教で司教は「ここには違う国の人がたくさん来ていて日本ではないみたいですね」と語りかけた。みずからの外国での経験話をして、「違いはあってもイエスを信じていることで一緒にあり、「みんなを愛すること」なのだ。イエスは周りの人々を愛するあなた方の中にいる」と語った。奉納では、子どもたちが、私たち神の家族の住む美しい地球を表すアーティファクト、私たちの祈りの場所を表す大きな口ザリオ、神の豊かな愛の

素直に描かれて興味深い」との感想が寄せられた。は、子どもたちが祭壇を囲み、それぞれの国の言葉で一緒に唱えた。閉祭の歌「アーメンハレルヤ」は何度もくり返され、司教を囲んだ子どもたちの喜びが伝わってきた。



主の祈り

(難民移住移動者委員会)

山野内被選司教は大阪府豊生まれ。その後南米アルゼンチンで育ち、回国でサレジオ修道会に入会した。叙階された後1997年より日本で働いている。山野内被選司教はさいたま教区の教区長として歴代7人目となり、教区に昇格してからの司教としては5人目となる。



山野内倫昭被選司教

さらに教皇は、先日、前田万葉大司教が枢機卿に任命された大阪教区のために、2人の補佐司教を任命した。1人は、ホセ・アベイヤ神父(68、クラレチア



酒井俊弘被選司教

アベイヤ被選司教はクラレチア宣教会の管区長を務めるなど、日本で働いた後、1991年よりローマの本部で働き、03、15年は総長。15年に帰国し、大阪教区で司教に当たっていた。



ホセ・アベイヤ被選司教

ン宣教会)。もう1人は、酒井俊弘神父(58、オプス・デイ) 写真。

さいたま教区司教、大阪教区 2補佐司教の任命を発表

司教が名古屋教区司教となり、同教区に移って以来のこととなる。

司教叙階式の日程 決まる

6月2日に発表された、さいたま教区、山野内倫昭被選司教と、大阪教区、ホセ・アベイヤ被選司教と酒井俊弘被選司教の叙階式の日程が次のように決まった。なお大阪教区の叙階式では、5月20日に発表された前田万葉大司教の枢機卿信任の感謝ミサを兼ねて行われる。

さいたま教区

山野内倫昭被選司教叙階式 日時 9月24日(月・祝) 午前11時より 会場 浦和明の星女子中学・高等学校ジュビリーホール (さいたま市緑区東浦和6-4-19)

大阪教区

前田万葉枢機卿信任感謝ミサとホセ・アベイヤ被選司教・酒井俊弘被選司教叙階式 日時 7月16日(月・祝) 午前11時より 会場 大阪教区カテドラル聖マリア大聖堂(大阪市中央区玉造2-24-22) (カトリック中央協議会HPより抜粋して掲載)

合同堅信式に感謝！

五反城教会 荒谷栄子



ということにも気がきました。松浦司教様の説教にも「神様は、一人一人の名前を呼んで「はい」と言った人間を通して働き、キリストを信じる人々が集まって教会共同体を造り、聖霊の働きによって救いのわざを行われた」とありました。

「人間は弱いから気持ち揺らぎます。そうしながら神様の働きによって前に進んでいきます。揺れながら回心しながらイエス様とつながって前に進みます」と。救われた思いがしました。

皆さんそれぞれに、洗礼から堅信を受けるまでの道のりはさまざまだったと思います。と同時に、この時が一人ひとりの新たな信仰生活の始まりだ

名古屋教区正義と平和委員会主催の学習会 「聖書の人間論」

古代オリエント学者 太田道子さん講演



聖書の人間論を話す太田道子さん

人間を「土の器」と呼ぶ、そこに納めるイエスを「宝」と言っている(IIコリント4章)。キリスト者はイエスを真理と信じ、イエスに従って生きる者。つまり、有限で罪深い人間が「宝」を持っているとパウロは言う。

その「宝」を腐らせてはならない。聖書を本棚の片隅に埃を被らせて飾ってはいけません。読むためのもの。イエスが誰か、何を考え何をしようとしたのかを知るには、新約聖書だけでは分からない。その背景、イエスが学び、考え、判断した旧約聖書を読まなければならぬ。

聖書は歴史書
人間が何であるかを考えるには古代オリエントから現在までの5000年間のパースペクティブで考える。5000年前にシムールで文字が発明された。人間が記録を取る時代となった。記録が書かれるようになって以降を歴史時代と呼び、それ以前の文字のない時代を考古学の対象、先史時代と言う。

旧約聖書は5000年間の約半分2500年前頃成立した。南ユダ王国がバビロンに敗れ、主だった支配層、王、官僚、貴族、祭司、技術者らのバビロン捕囚中、国を失った反省と国家再建のため、思索し抜いて書か

れたもの。もともと「難民」であった社会の最下層に、ヘブライがカナンのために、共同体作りをはじめ、国家とし、なぜ国際関係の中で滅んでいったかの歴史が書かれている。

旧約聖書学者と言われる人は「聖書神学」を研究し、歴史書として研究していない。太田道子さんは、旧約聖書の背景として「古代オリエント学」を研究している。太田道子さんは聖書が歴史書であり、人間の書であることと日本人に知らせることを自分の使命としている。

神とは何か。どこかにいる、というものではない。「人間は平等である」と言うために要請された。ある人が「人間は平等だ」と言っても誰も聞かないから、神が言った、とするのだ。

神の名、Yahwehは「動詞、従来訳の「ある」ではない。訳せば、私は「私だ」。つまり、人間の意にはならないものこと。出エジプト記の「わたしは恵もうとする者を恵み、憐れもうとする者を憐れむ」(出33・19)。

エデンの園の「食べてはならない」の禁止命令は人間には選択の自由があるということ。守ることも守らないこともできる自由だ。カインとアベルの物語は、人間の平等、独自性をどう受け入れるかの問題なのである。

(正義と平和委員会 竹谷 基神父)

「樹の会」総会と講演会 子供支援を積極的に!

名古屋教区カトリック女性の会「樹の会」は5月19日、第11回総会と講演会を南山教会マリヤ館で開催した。

総会で平尾公子会長は「支援活動は、これから子供支援に積極的に関わってほしい。また、日本カトリック女性団体連盟から来年の総会を名古屋でお願ひできないか。と打診があり前向きに検討したので、決まった時は皆さんの協力をお願いしたい」と挨拶した。

協力司祭である平澤忠雄神父(布池教会助任)は「明日は聖霊降臨。樹の会もそれぞれに聖霊を受けて活動してほしい」と話された。

引き続き長年にわたり松浦悟郎司教と活動され世界的な視野と豊かな経験を持つマイケル・シー

この講演は、今年11月23、24日の「正義と平和全国集会」名古屋大会開催に当たり企画された。

講演会
「共に生きる地球家族」
マイケル・シー神父
「共に生きる地球家族」を考えるために「私たちがどういう価値観を持っているのか」という観点から考えてみた時、私たち人類は歴史的に見て基本的に平和に暮らしてきたが、このままの社会がずっと戦争になつてしまいう可能性が高い。

戦争をほぼ確実に起こす状況として①資源争奪、②民族移動の二つがある。21世紀の私たちがこの二つの課題を平和的に解決しなければならず、人類全体の路線変更が必要である。

戦争中でも敵味方なく心通わせ一時的な平和が訪れたこともあった。お互いが共有するものを見出せば、あらゆる亀裂は乗り越えられる。どんな状況下でも、理解し合うこ



共に生きる地球家族を話すマイケル神父

共に取り組んでいく事が望ましく、それによって神の愛を証しできるのである。

「11月23、24日の正義と平和全国集会が成功し、神の働きが実を結びますように」と話を締めくくられた。

シー神父の出身国オーストラリアは、民族的気質として「もてなしの文化とおしゃべりの文化」があるそうで、その文化を十分發揮された講演会であった。「レジメに沿ってのお話で、とても分かりやすく、よい講演会だった」との感想が多く聞かれた。

(樹の会 北村幸子)

お知らせ 「樹の会」ミサと例会は、毎月第2火曜日10時より、カトリック南山教会で行っている。入会希望の方は事務局まで。☎090-1510710644(平尾)

聖カピタニオ女子高等学校 創立55周年記念感謝ミサ

本校創立55周年を5月11日に迎え、名古屋教区長松浦悟郎司教、ニコラス・スワイアテック神父、北向修一神父の共同司式による荘厳なミサが挙行された。

ミサに先立って、学園理事長は「聖カピタニオの偉大さは、新しい修道会を創立したことではなく、神に愛され、その愛を日々置かれていた環境の中で具体的、実践的に生きたことにある」と語った。

ミサの説教で松浦悟郎司教は「記念には二つの意味がある。一つは、出来事を懐かしく思い出すこと。もう一つは、出来事を現在化することと深くつながっている。この学校を創立するにあたって、最初に二人のシスターが来日し、幼き聖マリア修道会の学校を建てようとした意志は、修道会の創立者聖カピタニオ

の意志であり、さらにさかのぼると、2千年前人類を救うために誕生したイエス・キリストの意志を継承するものである」と、イエス・キリスト、聖カピタニオ、そして私たちのつながりを想い起こさせた。

さらに、「動乱後のカノビアの視察の折に感動したことは、貧困と不安の中で生活する母親の一番の願いが、学校が欲しいということであった。物質的な物ではなく、子どもたちの明るい未来を期待する選択だった。これは、聖カピタニオが行った選択と同じ意志である」と語り、「人生の中心に置く価値基準をしっかりと選択できるよ

うに」と論じた。

最後に全校生徒が創立者が讃える歌「ラ・カリエラ」(愛)を声高らかに合唱し、その歌声は会場いっぱいにも響きわたった。

ミサ後、イタリア研修の報告会が行われた。また祭壇に捧げられた花は、お世話になった施設などに届けられた。

(幼き聖マリア修道会 シスター福井節子)

現代世界の諸苦難を解明し、苦難にある人々と連帯するために、文明5000年史の解明に最も重要な文献である旧・新約聖書を歴史的に、現代文学と現代社会学の助けによって学び続けることが大切である。

聖書は「宝」
パウロはイエスを伝え



積極的に子供支援に関わりたく話す平尾公子会長

私たちが自分自身の優越性を認識するのに教会を利用しがちであるが、他の宗教など一切の差別を捨てて同じ人間という意識を持つことが重要である。また、私たちは教会内だけで社会活動に取り組むのは不十分で、教会外のあらゆる人々と

**第5回『あとから来る者のために』
原発研修会**

どなたでも、お気軽にご参加ください。

日時 8月11日(土) 13:30~15:00
場所 カトリック布池教会信徒会館3F 名古屋市東区葵1丁目12-23
参加費 200円
主催 次世代を考える会 問合せ 三本木國喜 ☎0561-83-5360



最後に全校生徒が創立者が讃える歌「ラ・カリエラ」(愛)を声高らかに合唱し、その歌声は会場いっぱいにも響きわたった。

ミサ後、イタリア研修の報告会が行われた。また祭壇に捧げられた花は、お世話になった施設などに届けられた。

(幼き聖マリア修道会 シスター福井節子)

愛岐ブロック兄弟の集いの参加者の皆さん



愛岐ブロック

「兄弟の集い・ふるさと会」を開催

「思いやり・声かけ」から

皆がつながっていく

愛岐ブロック「兄弟の集い」が、5月27日、多治見教会で開催された。ブロック司祭団による共同式ミサと「思いやり・声かけ」をテーマに出身地別に分かれて分かち合う「ふるさと会」を行った。

ミサは、多治見教会主日のミサに兄弟の集い参加者が加わり、朗読、共同祈願を各小教区が担当し、多治見教会聖歌隊の歌声とともに行われた。

ミサの後、ブロック長である多治見教会主任司祭アルデーノ神父の開会挨拶に続き、多治見修道

院の食堂や研修センターログハウスなどに分かれて昼食、そして「ふるさと会」が始まった。

ふるさと会のテーマを「思いやり・声かけ」としたのは、ふるさとから今の場所に来た時の不安な気持ちを救ってくれた様々な経験を分かち合い、「思いやり・声かけ」の大切さを再認識しよう

とことからである。今回初めての試みとして外国籍信徒も出身エリア毎にグループを作り、そこに、外国出身の司祭やシスターも加わって分かち合いを行った。

日本人グループ、外国人グループ、出身地を6グループに分けた「ふるさと会」は大いに盛り上がり、時間が足りないとの声を多くいただいた。兄弟の集いは、愛岐ブロックに所属する5小教区(春日井、瀬戸、高蔵寺、瑞浪、多治見)と幼

き聖マリア修道会の交流の場として、毎年各小教区が持ち回りで幹事教会となり、ミサとイベントを開催する伝統ある行事である。これからも愛岐ブロックの大切な活動として続いていく。「思いやり・声かけ」を大切に

して、皆がつながることの重要性が再認識できた集まりだった。

(愛岐ブロック 多治見教会 八田淳二)

主にささげる24時間～聖体礼拝

毎月第2・第4(木) 19:00～(金) 19:00 主税町記念聖堂
問合せ ☎052-935-2223 (教区事務所)
090-1623-1170 (平田政信神父)

聖パウロ女子修道院(聖パウロ書院)からお知らせ

ロザリオの祈り

日時 毎月第2日曜日 14:00～(40分程度)
7月8日(日) 8月はお休み 9月9日(日)

読書会

日時 毎月第3土曜日 14:00～15:30
7月21日(土)
(書籍「パウロの福音」を読んでいます)
「ロザリオの祈り」「読書会」はどなたでも自由に参加頂けます。
詳しくは、聖パウロ書院へお問い合わせください。
連絡先 聖パウロ書院 ☎052-936-4443 Fax 052-799-4461

「青年のための聖書の学び」7月15日(日)

テーマ ルカ18章「やすらぎ(寡婦と裁判官)」
対象 青年男女(18～32歳)
時間 14:00～19:50(高校生16:30まで)
共同体と共に祈りと食事をする
17:45～ご聖体顕示、晩の祈り、夕食、食費は自由献金
19:45～糾明 サルヴェ・レジナ 終了
連絡先 ☎052-782-5850 名古屋市千種区園山町1-56
聖マリアの無原罪教育宣教修道会
担当者:シスター錠(いかり)政子
FB 「青年のための聖書の学び」
HP <http://www.concepcionistas.jp/>

第10回 平和祈念の集い

広島・長崎・終戦の回想

平和をつなぐため、命の尊厳を守るため、福音を告げ知らせるだけでなく、この地を神の御国と願い、自分を守ることを乗り越えて今問われる私たちの選りは何か? 私たちの決意は? 今年はシゲル神父様のお話を伺い、共に考え共に祈りましょう。

日時 8月5日(日) 13:30～15:30
場所 カトリック南山教会マリア館ホール2階
名古屋市昭和区南山町1
地下鉄鶴舞線「いりなか」駅下車徒歩5分
内容 講話:マイケル・シーゲル神父
(神言修道会 南山大学教授)
テーマ:「力による平和の落とし穴」
合唱:南山教会聖歌隊
戦争体験を語る:南山教会信徒
聖書朗読、共同祈願、平和を求め祈り等
主催 南山教会有志・他有志 (代表:井爪謙治)
連絡先 ☎・Fax 052-831-7719 (いづめ)

第71回侍者会 テーマ「愛の食卓」

日時 8月6日(月)～8日(水)まで
場所 神言神学院 名古屋市昭和区八雲町70-9
☎052-832-2082 Fax 052-835-3127 担当 荒田助祭
定員 30人
対象学年 小学4年から中学3年まで。(高1以上のスタッフも募集)
会費 (協賛費) 5千円
申込み 主任司祭を通してください。
申し込み用紙に記入後、郵送またはFaxで送信。
締切 7月20日(金)必着。定員になり次第締め切ります。

おさなごのように 一天の父に甘える七十七の祈り

著者:晴佐久昌英 7月20日発行
出版:女子パウロ会
価格:1,296円(税込)



特定の宗教を超えた、まことの親である「天の父」に親しんでもらいたいという著者の願いから生まれた生活の中の祈りです。試練のとき、苦しい中で、人びとと共に…さあ、おさなごのように祈りましょう。「天の父よ!」と。

カルメル修道会 一日静修 in 名古屋

一カルメル会士とともに過ごす聖母の土曜日

日時 7月7日、9月15日、10月27日、11月17日、12月8日
いずれも土曜日、13:00～17:00
講話・黙想・ミサ・教会の祈りなど。
場所 カルメル修道会 日比野(本部) 修道院
(カトリック日比野教会)
交通 地下鉄名港線日比野駅下車 徒歩約8分
その他 参加の事前連絡は不要。直接お越し下さい。
当日は千円程度のご寄付をお願いします。
問合せ 男子跣足カルメル修道会 一日静修係
Fax 052-681-6445
E-mail: hibino@carmel.or.jp

部落解放をめざす愛知研修会

～第42期部落解放講座～

講演テーマ「部落問題と向きあう若者たち」

コーディネーター 内田龍史(高綱学院大学教授)
報告者 上川多美(BURAKU HERITAGEメンバー)
本江優子(公益財団法人反差別・人権研究所みえ)
今村 力(NPO法人おおぞら理事長)
とき 7月12日(木) 13:00～16:30
ところ 日本特殊陶業市民会館(フォレストホール)
名古屋市中区金山1-5-1 ☎052-331-2141
参加費 3,000円(資料代込み)
申込み・問合せ
同和問題にとりくむ愛知県宗教教団連絡協議会(愛知同宗連) 担当
早川神父 ☎0564-51-1848/FAX 0564-64-1215(岡崎教会)
主催/部落解放愛知県共闘会議 後援/愛知県・名古屋

新刊書のご案内

教皇フランシスコ(ペトロ文庫)

「キリスト者の希望 一教皇講話集」



2016年の待降節から翌年にかけて行われた一般謁見連続講話。人生の旅路において神がともにいてくださることへの確信によってキリスト者が得る希望について、旧約、新約両聖書を通して考察し、孤独や苦しみに満ちた荒野を神への信頼をもって力強く歩むすべを語られています。
また「希望」というテーマがゆえに、若者にあてた熱いメッセージも収録。10月に開かれる「青年」をテーマとしたシノドスや、来年1月のワールドユースデー・パナマ大会に向けての読書にも最適な一冊です。

問い合わせ、及び注文は
カトリック中央協議会・出版部
東京都江東区潮見2-10-10
☎03-5632-4429 Fax 03-5632-4456

東日本大震災・災害支援金の報告 カリタス福祉委員会

発災時より社会福祉委員会へ振込まれた支援金を下記の通りご報告いたします。暖かいご支援に心より感謝いたします!! (振込手数料引去後の金額)

項目	単月明細	2011.3.17 発災から
	5/1～5/31	2018.5.31までの合計
収入		
支援金総額(※)	12,830	29,658,557
収入合計	12,830	29,658,557
支出		
カリタスジャパンへ		11,335,367
さいたま教区・災害支援金へ		1,000,000
カリタス南相馬ベース支援		1,779,450
福島移住女性支援ネットワーク		490,000
福島被災地(狩浦神父活動)支援		100,000
大阪教会管区(大船渡・南三陸)支援		14,006,234
オールジャパン会議交通費		123,620
大船渡ベースへ車いす4台贈呈		123,200
大船渡ベースへピアノ贈呈		58,800
ベース支援ボランティア交通費補助		491,150
災害支援金口座へ		137,906
支出合計	0	29,645,727
単月・支援金残高	12,830	12,830
支援金残高合計		12,830

(※)5月度に支援金のご協力いただいた小教区・個人(敬称略) 金沢教会

★名古屋教区の支援金は
カリタス大船渡ベースとカリタス南三陸(旧・米川ベース)カリタス南相馬、カリタスジャパン(東日本大震災募金)そして、福島での活動団体を中心に支援していきます。引き続き皆様のご支援、ご協力をお願い致します。

★支援金振込先
郵便振替用紙にて
口座番号 00880061628
名義 カトリック名古屋教区社会福祉委員会
「東日本大震災・災害支援金」と記入願います。
※振替口座名義はまだ旧名義となっております。

ご連絡・問合せ先
カリタス福祉委員会
電話 052-852-1426
FAX 052-852-1422



- 7月の教会暦
 - 1日(日) 年間第13主日
 - 3日(火) 聖トマ使徒(祝)
 - 8日(日) 年間第14主日
 - 11日(水) 聖ベネディクト修道院長(記)
 - 15日(日) 年間第15主日
 - 22日(日) 年間第16主日
 - 25日(水) 聖ヤコブ使徒(祝)
 - 26日(木) 聖マリアの両親聖ヨアキムと聖アンナ(記)
 - 29日(日) 年間第17主日
 - 31日(火) 聖イグナチオ(ロヨラ)司祭(記)
- 8月の主な教会暦(主日・祭日など)
 - 5日(日) 年間第18主日
 - 12日(日) 年間第19主日
 - 15日(水) 聖母の被昇天(祭)
 - 19日(日) 年間第20主日
 - 26日(日) 年間第21主日
- 教区行事予定 (* 松浦司教)
 - 4日(水) カリタス福祉委員会
 - 8日(日) 城東B会議 / 三河B会議 / 教区中高生会
 - 10日(火) 樹の会
 - 14日(土) 信徒協役員会
 - 15日(日) 城北B会議 / 城南B会議 / 教区障害者のつどい / 青年委員会
 - 17日(火) 難民移住移動者委員会 / カトリック看護協会例会
 - 19日(木) 教区顧問会 * 月集 *
 - 21日(土) レジオ名古屋クリア
 - 22日(日) 押切教会65周年ミサ *
 - 28日(土) 典礼委員会

告知板

福信館便り ☎052(935)7180

◆7月の炊き出し 木5日布池、12日東海・樹の会・南山、19日聖霊・南山・樹の会、26日城北橋、金6日喜望の会、13日布池、20日一宮、27日長浦

◆委員会名変更のお知らせ
このたび名古屋教区社会福祉委員会は7月1日より下記のとおり名称

30日(月) 北陸ブロック司祭会議 *

4日(土) 6日(日) 青年委員会・教区中高生会 広島巡礼

6日(月) 15日(水) 日本カトリック平和旬間 願ミサ

9日(木) 教区顧問会 / 三河B平和祈願ミサ

11日(土) 祝信徒協理事会 / 北陸・平和ミサ *

12日(日) 教区平和祈願ミサ *

13日(月) 16日(木) 教区事務所休館

18日(土) 正義と平和学習会

19日(日) 愛岐B会議

20日(月) 24日(金) 教区司祭黙想会 *

26日(日) 一粒会の集い(北陸地区) *

7月 教区行事以外の松浦司教予定

5日(木) 常任司教委員会

9日(月) 13日(金) 司教総会

14日(土) 愛知サマーセミナー

16日(月) 祝・17日(火) AOS全国研修会

20日(金) 子どもと女性の権利擁護のためのデスク

建設費の返済に協力を

581件 28,843,675円
目標額 40,000,000円 (5月末)

達成率 約72.1%

郵便振替 00810-5-50605
加入者名 カトリック名古屋教区
通信欄に「福信館建設」と必ずご記入ください。

を變更させていただく事になりました。引き続き今後とも一層のご支援ご協力宜しくお願い申し上げます。

◆声の文庫ボランティア募集
カリタス福祉委員会(旧・社会福祉委員会)では、教区内の視覚に障害を持っていらっしゃる方々へ、教区報をテープに吹き込み送信しています。ただ今2名の方に朗読、吹込み、ダビングのご協力をいただいております。ですが、今回、早急に録音作業にご協力いただける方を募集しております。経験は問いません。詳細は電話で問合せ下さい。

※録音作業場所 カリタス福祉委員会2階

※作業は月1回10時~15時くらい。1日で終了。日程は前月録音日に相談で決定。

問合せ先 ☎052-852-114
26 名古屋教区カリタス福祉委員会

2018年度キリシタン史勉強会のお知らせ

第2回 主税町記念聖堂 7月16日(月・祝) 13:00~
金沢教会 9月9日(日) 14:00~
キリシタン文化を考える(青山玄神父)
仮題 「日本に影響を与えた宣教師がもたらしたキリスト教」

第3回 主税町記念聖堂 11月3日(土・祝) 13:00~
金沢教会 11月18日(日) 14:00~
キリシタン禁制の歴史その1(浅井太郎神父)
仮題 「豊臣秀吉、徳川家康、秀忠、家光の時」

連絡 講師の都合により講題テーマは変更になる場合があります。
お申込み不要 参加無料(席上献金あり)。ご希望の方は各教会へお出かけください。
主催 カトリック名古屋教区殉教者顕彰委員会
問合せ ☎052-936-8366

2019年 ワールドユースデー(WYD)パナマ大会公式日本巡礼団 参加巡礼者募集!

2019年1月22日から27日に開催される2019年ワールドユースデー(WYD)パナマ大会に参加する公式日本巡礼団への参加登録申請が始まりました。

日程 2019年1月16日(水)~1月31日(木) 募集人数 50名 発着地 羽田空港
参加費用 280,000円(参加登録・現地プログラム費用約70,000円、旅行費用約210,000円)
募集期間 2018年6月1日(金)~2018年7月10日(火) 参加資格 18歳~35歳 国籍不問
参加登録申請

- 「募集案内」の内容をご確認いただき、「2019年 ワールドユースデーパナマ大会 公式日本巡礼団 参加登録申請書」に必要事項を記入。
- パスポートのコピーと参加登録申請書と合わせて公式日本巡礼団事務局へEmail(登録申請書に記載)かFAXで提出。
提出期限:2018年7月10日(火)
登録締切後に、各自に送付される旅行社(株阪急交通社)からの旅行条件詳細等の案内書で、費用支払等について確認。

『毎月第1土曜日・ロザリオの集い』

日時 毎月第1土曜日 13:00~
場所 カトリック押切教会 名古屋市西区名西1-12-5
司祭 島袋幹男神父、他

スケジュール
13:00~聖体賛美式・ゆるしの秘跡・ロザリオの祈り
14:00~ミサ
15:00~聖母マリアの汚れなき心への奉獻の祈り
15:30~お茶タイム

主催 ロザリオの集いの会
問合せ 高木光男 ☎090-5451-4775

名古屋教区、神言会・聖霊会 JPIC 勉強会シリーズ第3回

テーマ「共に生きる地球家族」

日時 9月9日(日) 13:30~16:00(開場13:00)
場所 南山教会マリア館2階
名古屋市昭和区南山1(地下鉄鶴舞線いりなか駅下車 徒歩5分)

テーマ 「福音に基づいた取り組み—今の世界に求められる愛の実践」

講演者 菊地 功(東京大司教)
問合せ 福信館 ☎052-935-7180 (Fr.竹谷)
八事聖霊修道院 ☎052-832-0434 (Sr.武田)

主催 神言修道会・聖霊会 JPIC 委員会
名古屋教区正義と平和委員会

第33回障害者のつどい

“生まれてきてよかった、生きていてよかったと思いたい”
—優生思想と人権—

日時 7月15日(日) 9:00(受付開始)
10:00 司教ミサ・交流会・その他
16:30(終了予定)

場所 カトリック熱田教会 名古屋市熱田区伝馬2-28-14
☎052-671-4549 Fax 052-671-4624

交通 ①名鉄・神宮前駅から徒歩
神宮東門乗車、内田橋北駅下車、徒歩5分
②地下鉄名城線・伝馬町駅から徒歩10分
※駐車台数に制限がありますので、上記の方法でご来場ください。

テーマ 「生まれてきてよかった、生きていてよかったと思いたい」

参加費 大人1,200円 中高生700円 小学生以下無料
申込期限 7月2日(月)

共催 教区障害者連絡会、教区社会福祉委員会、宣司評
城南ブロック

後援 カトリック名古屋教区

問合せ カリタス福祉委員会 ☎052-852-1426

正義と平和委員会の学習会

11月23日(金・祝)・24日(土)に名古屋教区で開催する正義と平和全国集会に向けた事前学習会です。

○8月18日(土) 13:30~15:30
テーマ 「天皇制」
講師 シスター三好(援助修道会)

○10月20日(土) 13:30~15:30
テーマ 「沖繩」
講師 浅見裕子(フォトジャーナリスト)

○11月17日(土) 13:30~15:30
テーマ 「原発」
講師 河田昌東(チェルノブイリ救援中部)

会場 いずれも名古屋教区センター2F
主催・問合せ 教区正義と平和委員会 Fax 052-935-7195

